

小学校における教育相談担当者による影響方略が 学校組織における教育相談の定着化に及ぼす影響 I

○西山久子 (福岡教育大学)
迫田裕子 (東亜大学)

鎌田雅史 (就実短期大学)

キーワード：教育相談定着化、上方向の影響方略、校長のリーダーシップ

目 的

教育相談は、人的資源への依存傾向にあり、援助サービスが不安定な原因の一端を担っている。学校組織における教育相談の定着は喫緊の課題であることから、本研究では教育相談の定着化に関する事項について、担当者から校長へ向けた影響方略の検討を行った。

方 法

公立小学校 (747校) の、校長／教育相談担当者 (以下担当者) を対象に、平成27年3～4月に郵送法によるアンケート調査を実施し、298校 (回収率40%)、587名 (回収39%) から協力を得た。アンケートには、回答者の属性に関するフェイス項目 (性別・年齢・学校規模等)、教育相談の定着度、担当者の役割認識、学校風土、担当者の力量、協働促進に関する校長のリーダーシップ、担当者による影響方略、校長の対応に関する項目が含まれている。影響方略は使用頻度についてリッカート法 (5件法) を用い【1: 全くない～3: どちらでもない～5: よくある】から回答を求めた。

結 果

影響方略について、因子分析 (最尤法 プロマックス回転) を行った。校長／担当者の認知が異なる可能性から、因子構造は個別に検討した。因子数の決定は、固有値、MAP、因子項目の解釈妥当性、最尤法の適合指標に基づき、校長・担当者ともに5因子構造による解釈が妥当であると判断し因子の命名を行った。

担当者による影響方略認知 第一因子は、「気分を害さないよう」等の項目内容から、情緒的方略と命名した。第二因子は、「校長にとっても有益であることを説明」などの項目から、社会的交換と命名した。第三因子は、「論理的に説明」などの項目から、論理的方略と命名した。第四因子は、「断れないような、強いプレッシャーをかけた」など、校長をコントロールしようとする項目から、操作的方略と命名した。第五因子は、「アドバイスを求める」など校長を相談に巻き込む項目から、双方向的方略と命名した。

校長による影響方略認知 担当者による因子構造と共通点が認められたが、対象者側の視点から解釈を試みた。因子に負荷する項目の違い (表1) から、情緒的方略に対応する因子を迎合、社会的交換を社会的交換 (交渉)、操作的方略を圧力、論理的方略を合理的方略、双方向的方略を相談と命名した。

考 察

担当者側で情緒的方略に負荷する方略の一部が、校長側で他の3因子に負荷していた。気遣い等は迎合、校長の負担感軽減に関する項目は社会的交換 (交渉)、友好的関係の強調は、圧力に対する負荷量が大きかった。これらの結果は、同一行動に対し、校長／担当者が異なる認識をもつことを示し、行為者による対象者への認知を高めるなど、知見の実践への応用にも配慮を要することが示唆された。

表1 校長・担当者間の影響方略認知の比較

校長による影響方略認知	担当者による影響方略認知
迎合	情緒的方略
校長の気分を害さないよう気を遣いながら依頼・提案をした 場の空気をよんで、依頼・提案をした	もし応諾した場合の、校長の負担が少なくなるようあらかじめ準備してから依頼・提案をした 応諾後に、校長の業務に支障をきたさないようにするための建設的な提案をした 友好的な関係を強調し、提案事項の応諾を求めた 個人的に仲が良いため、気楽に依頼・提案をした 依頼・提案事項の意義や、価値について熱く語り共感をもちた 依頼・要求事項に関連する他の教員の合意を得たうえで、結託して交渉した
社会的交換 (交渉)	社会的交換
依頼・提案事項は、教育相談者の正当な権利であると訴えた 依頼・要求事項は、校長にとっても有益であることを説明した 依頼・要求事項に関連する他の教員の合意を得たうえで、結託して交渉した 依頼・提案事項の意義や、価値について熱く語り共感をもちた もし応諾した場合の、校長の負担が少なくなるようあらかじめ準備してから依頼・提案をした 応諾後に、校長の業務に支障をきたさないようにするための建設的な提案をした	
圧力	操作的方略
強い口調で、応諾を求めた 依頼を断つくらい第三者を介して、依頼・要求をした 個人的に仲が良いため、気楽に依頼・提案をした 友好的な関係を強調し、提案事項の応諾を求めた	
合理的説得	論理的方略
依頼・提案の客観的な根拠を示した 依頼・提案の理由を論理的に説明した	
相談	双方向的方略
依頼・提案事項に関してアドバイスや提案を求めた 依頼・提案事項に関して相談した	

各因子の項目は、負荷量の多い順に並び替えている (最尤法 Promax 回転)

JSPS 科研費 (課題 No. 24530827) の助成をうけた